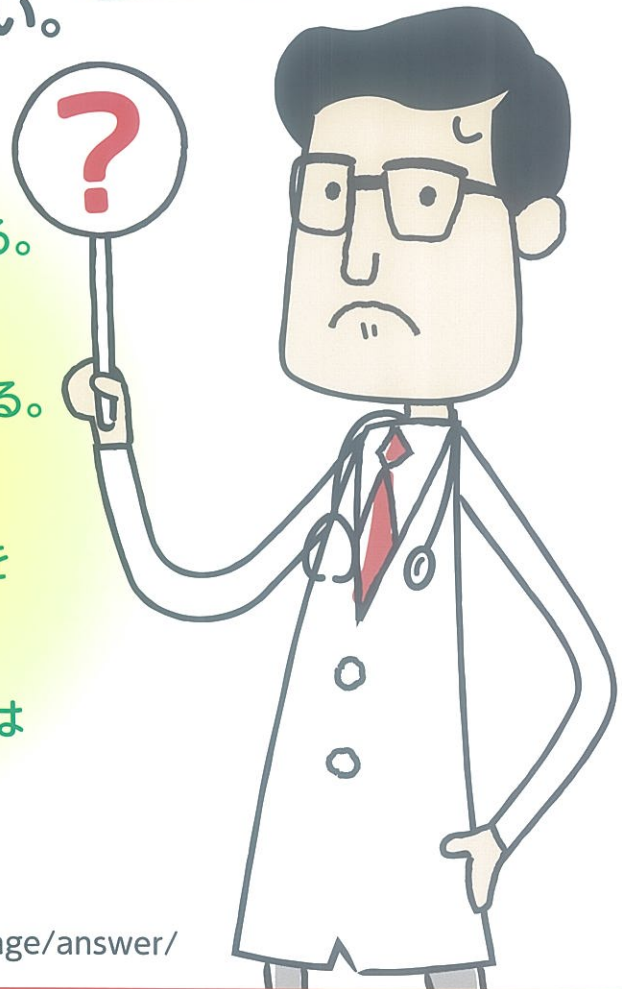


問

次の文章のうち
「機能性表示食品」の説明として
不適切なものを1つ選びなさい。

- 1 企業等の責任において、
保健の機能の表示ができる。
- 2 加工食品に限り
適用される制度である。
- 3 疾病の治療効果または
予防効果を直接的に表示を
してはならない。
- 4 アルコール含有飲料は
対象外である。

あなたの
健康リテラシー、
大丈夫？



問題のこたえと解説はWebで <https://kenken.or.jp/page/answer/>

健検

日本健康マスター検定

第1回試験実施日

2017年2月26日(日)
東京、大阪、名古屋ほか地方会場で開催

申し込み期間(個人)

2016年10月3日(月)10:00~2017年1月13日(金)18:00
お申し込みはWebで。

〈主催〉一般社団法人 日本健康生活推進協会

〈監修協力〉日本医師会

〈後援〉日本医師会、日本歯科医師会、日本薬剤師会、日本看護協会、日本栄養士会、NHKエンタープライズ、NHKエデュケーショナル、サンケイリビング新聞社、スマート・ライフ・プロジェクト(厚生労働省)、健康日本21全国連絡協議会、健康・体力づくり事業財団、日本健康運動指導士会、日本ウォーキング協会、日本保育協会、スポーツ健康産業団体連合会、日本フィットネス産業協会、日経BP健康経営フォーラム、神奈川県

〈特別パートナー〉東京海上日動火災保険株式会社

日本健康マスター検定



始まります。

健康は、失う前に自ら守っていくことが大切。いつまでも若々しく健康で暮らすための知識やスキル＝**健康リテラシー**は、いまや健康関連の業種で働く人のみならず、広く一般の方々にも求められているといえます。「**日本健康マスター検定**」は、生活や仕事に活かせる健康リテラシーを習得するための検定です。

たとえば、こんな方々に受けていただきたい！



社員の健康を
きちんと管理したい
人事・健保担当者



履歴書に書ける
武器を持ちたい
学生



顧客の相談にも
的確に答えたい
ウェルネスサービス従事者



自分の健康維持に
不安を感じている
シニア層



より幅広い知識を
仕事に活かしたい
健康関連有資格者

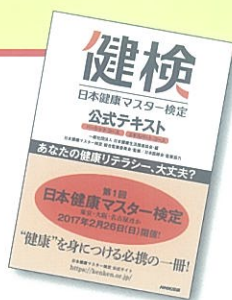
レベルに応じた2つのコース

【ベーシック・コース】

セルフケア(自分自身の健康づくり)への関心、ニーズを持つ一般生活者、ビジネスパーソンなどが対象。

【エキスパート・コース】

コミュニティケア(他者、集団の健康づくり)に関与する方、健康関連のサービスに従事する方、職域や地域の健康推進を狙うリーダーなどが対象。



『日本健康マスター検定公式テキスト』

(ベーシック・コース、エキスパート・コース 共通)

健康を守るために必要な正しい知識を、各分野のエキスパートが体系化した一冊。試験対策用としてだけでなく、健康的な生活を支える実用書としても必携のテキストです。

発売日 2016年8月10日
A5判 並製224ページ
定価(本体2500円+税)
NHK出版刊

お求めは主要書店または
インターネットで!

<http://www.kenken.or.jp/textbook/>

※団体受験制度、テキスト一括購入割引制度もあります。詳しくは協会事務局まで。

日本健康マスター検定公式Webサイト

<https://kenken.or.jp/>

お問合せ

info@kenken.or.jp



一般社団法人

日本健康生活推進協会

(理事長: 大谷 泰夫)

〒105-0003 東京都港区西新橋 1-20-10 西新橋エクセルビル 7階

TEL:03-6268-8447(平日10:00~16:30、土日祝除く)

FAX:03-6268-8619